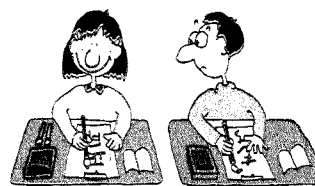
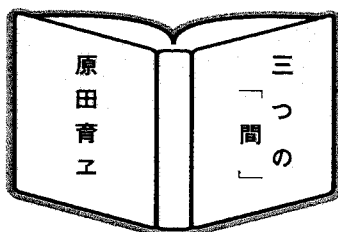


## 《わたしと生涯学習》 3

これから何か始めようと考えておられる方に少しでも参考になればと思い、「わたしと生涯学習」と題して、現在「生涯学習推進に携わっている方」「生涯学習を実践されている方」に【生涯学習について目ごろ考えていること】【生涯学習に実際取り組んでいること】などを紹介していただきました。



豊かな文明がもたらした、高度情報化、国際化、高齢化、少子化、余暇時間の増大、価値観の多様化など、急激に社会は変化しています。このような時代に、都留市でもそれぞれの余暇を有意義に過ごす努力を続けていってほしい方が多いことが分かります。

私も、娘二人の子育てを通して親として、人間として成長させてもらったPTA活動、また、地域の行事への参加や、バレーボールを通して、同世代の友人たちとのコミュニケーションを図ってきました。でも、主婦が決められた時間に出かけるといふことは、家族の理解と協力が必要だと思えます。また、余暇が増えているというのは、誰の話なのかと思わずにはいられないことも多々あります。でも、時間とはとても不思議なものだと思います。

人生を楽しむためには、三つの「間」が大切だと考えます。

一、「時間」二、「空間」三、「仲間」です。この三つが人生を楽しむ、豊かにします。

時間を有意義に使い始めると、空間が豊かになることで時間も増えていきます。そして、時間を有効に使うことによって仲間も増え、それがまた時間を有意義に感じさせるのです。学生時代つまらない授業を聞いていた時、時間が長く感じたものです。時計を見ても秒針が止まっているんじゃないかと思えた程です。つまらないと時間も止まってしまうのです。好きか嫌いかで時間の長さは変わるのです。好きなことをやっている、アツという

間に時間がたち後で思い出したら、そこでした事の密度は何時間分にも匹敵するものです。しかし、すべての人に同じ時間が流れているわけでは決まっています。時間はそれを利用する人の心意気で何倍にも有効に使えるものだと思います。これからは、家族の協力で感謝しつつ、いろいろなこと（生涯学習）にチャレンジしていきたいと思っています。

ところで、最近、相次いでいる少年事件に心を痛めています。しかし、これも氷山の一角だと思えます。もっと奥深いところで、人間関係が崩壊しているのではないかと心配です。子どもたちを取り巻く環境は、大量消費文明で、便利さと快適さが保証された暮らしの中で、本来、人間の力でできることまで商品に代行させてしまっているのです。自分の力のバランスを取る訓練をする機会を奪われ、心のコントロールもうまくできずに子どもたちは苦しんでいるのだと思えます。こんな時、彼等をしつかりと受け止めることができる場と力を用意するのが大人の仕事だと思えます。生涯学習の中で、青少年の健全育成のために市民がどう取り組むことが必要だと思います。

皆が同じだから平等ではなく、違うけれど対等であり、皆が違った個性をもっていて存在感があるということ認識しなければならぬと思います。今後も、大勢の人との出会いを通して、生き甲斐のある生活を送れるように努力をしていきたいと思っています。

### 「私と生涯学習」原稿募集

目ごろ生涯学習を実践している市民の皆さんから体験談を募集します。現在行っているいろいろな学習やお稽古ごと、スポーツ・レクリエーションなどを始められた動機や実践している楽しさなど、これから生涯学習を始められる方々のために、お聞かせください。このコーナーで紹介します。原稿はつぎの要領でお願いします。

- 1 内容 生涯学習を始められた動機や学習の楽しさなど
- 2 字数 原稿用紙2枚(800字以内)
- 3 締切 平成10年8月31日(月)

提出・問合先 生涯学習課 生涯学習担当